

調査実施概要

調査目的

令和8年度に「文京区アカデミー推進計画（令和9年度～13年度）」を策定するにあたり、学習活動、スポーツ、文化芸術、観光、国内・国際交流に関する区民等の意識、活動の状況及び要望等を把握するため、実態調査を行いました。

調査対象	区民	小学生・中学生	高校生・大学生	施設利用者・事業参加者
調査時期	9～10月			
調査方法	10～11月（調査実施中）			
調査方法	郵送発送、郵送・WEB回収	学校経由での調査依頼、WEB回答		施設・事業での依頼、WEB回答
対象者	区内在住18歳以上（無作為抽出）	区立小学校、中学校	区内にある高校、大学	施設利用者・事業参加者
配布数	2,000件			
有効回収数	755（郵送265、WEB490）件			

※令和7年10月20日現在

現行計画における指標の達成状況【区民調査、施設利用者・事業参加者調査結果より】

学習活動

（1）分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり

指標	現状値		目標値
1年間に学習活動を行った人の割合	67.2% （令和元年度）	76.3% （令和7年度）	70.0%

（3）分野別基本方針③学びの循環による地域づくり

指標	現状値		目標値
これまでに学んだ内容を他人や地域のために活かした人の割合	19.1% （令和元年度）	20.1% （令和7年度）	25.0%

スポーツ

（1）分野別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充

指標	現状値		目標値
スポーツ実施率（週1回以上）【スポーツをする】	54.9% （令和元年度）	58.0% （令和7年度）	60.0%
スポーツ観戦率【スポーツを見る（直接観戦）】	23.7% （令和元年度）	24.5% （令和7年度）	30.0%
スポーツボランティアの参加率【スポーツを支える】	10.7% （令和元年度）	12.2% （令和7年度）	20.0%

（2）分野別基本方針②いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親むことができる環境づくり

指標	現状値		目標値
「スポーツ活動を支える環境を整備すること」への満足度	36.3% （令和元年度）	51.0% （令和7年度）	45.0%

（3）分野別基本方針③スポーツの力を活用した地域づくり

指標	現状値		目標値
※事業参加者の満足度	- （令和元年度）	100.0% （令和7年度）	80.0%

文化芸術

（1）分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる（鑑賞・観覧等）】

指標	現状値		目標値
1年間に文化芸術を鑑賞した人の割合	81.2% （令和元年度）	87.9% （令和7年度）	83.0%

（2）分野別基本方針②だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する（活動・参加等）】

指標	現状値		目標値
1年間に文化芸術活動をした人の割合	32.4% （令和元年度）	34.3% （令和7年度）	40.0%

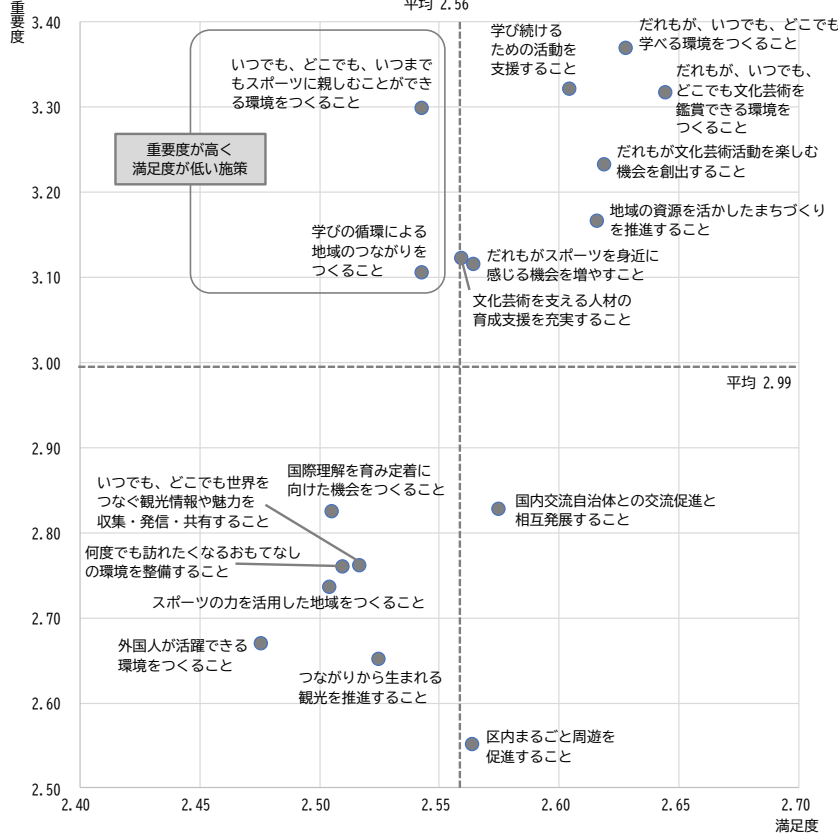
（4）分野別基本方針④地域の資源を活かしたまちづくりの推進

指標	現状値		目標値
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館の区民認知度	- （令和元年度）	63.8% （令和7年度）	70.0%
※文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館来館者の展示に関する満足度	82.3% （令和3年度）	96.0% （令和7年度）	90.0%

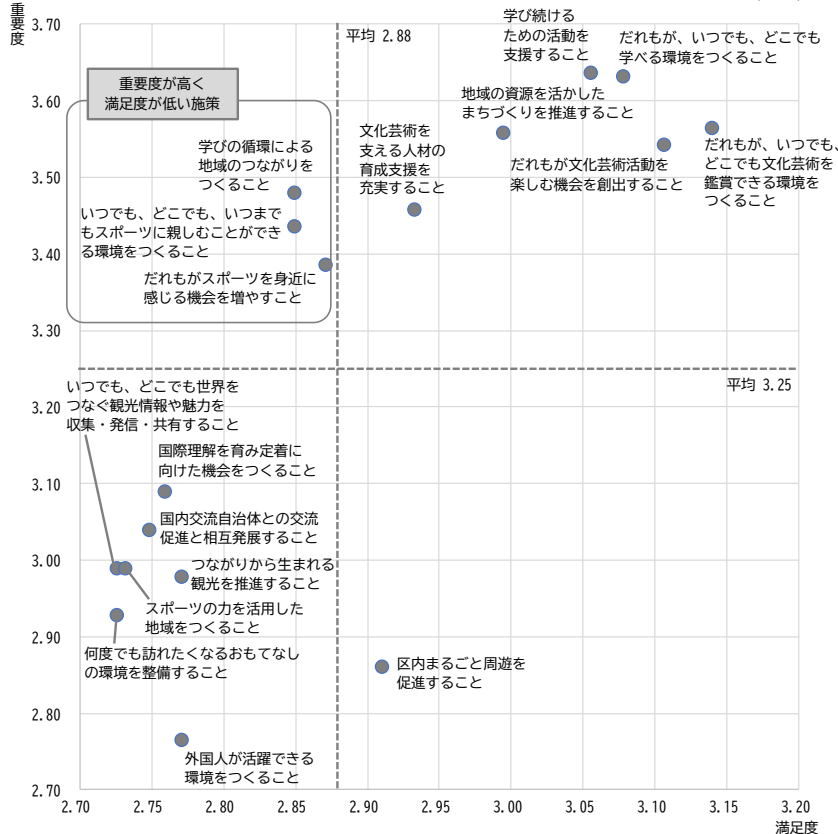
施策・事業の重要度・満足度によるポートフォリオ分析【区民調査、施設利用者・事業参加者調査結果より】

「重要度が高く満足度が低い施策」（優先度が高いと判断されている施策）としては、区民では「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境をつくること」「学びの循環による地域のつながりをつくること」が挙げられています。また、施設利用者・事業参加者では、「学びの循環による地域のつながりをつくること」「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境をつくること」「だれもがスポーツを身近に感じる機会を増やすこと」が挙げられています。

【区民調査】



【施設利用者・事業参加者調査】



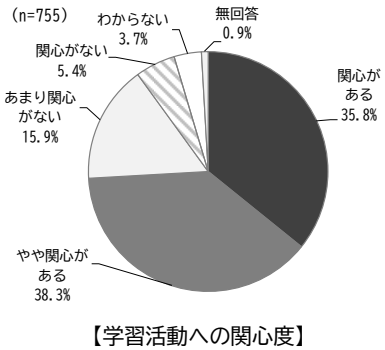
✓ 現行の「文京区アカデミー推進計画」に掲げるスポーツ、文化芸術、学習活動、観光、国内・国際交流の各分野での分野別基本方針ごとの指標の達成状況を示したものです。
✓ 前回調査時の現状値及び目標値を上回った指標は、太字で示しています。

※スポーツ分野の（3）分野別基本方針③の現状値の算出に向けた調査対象者数は12件、文化芸術分野の（4）分野別基本方針④「文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館の展示に関する満足度」の現状値の算出に向けた調査対象者数は25件と、ともに現段階における調査対象者数が少数であることに留意が必要です。

※「満足度」の選択肢の「満足ではない」＝1、「どちらかといえば満足ではない」＝2、「どちらかといえば満足である」＝3、「満足である」＝4と仮定して、各選択肢への回答数に掛け合計値を平均し指数を算出。「重要度」も同様。

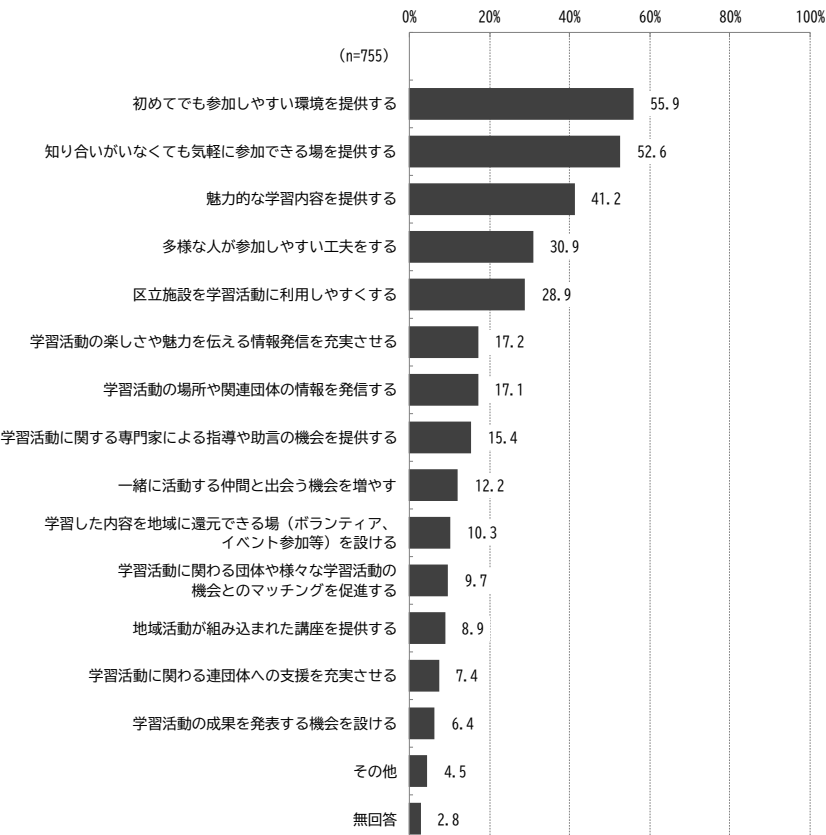
学習活動に関わる意識

✓学習活動への関心度は、
「関心層」が74.1%、
「非関心層」が21.3%
となっています。



区に期待する学習活動に関わる取組

- ✓区民の学習活動を促進し、学習内容を地域や他者のために活かすために、区がより力を入れるべき取組は、以下が上位4項目。
- ①「初めてでも参加しやすい環境を提供する」（55.9%）
 - ②「知り合いがいなくても気軽に参加できる場を提供する」（52.6%）
 - ③「魅力的な学習内容を提供する」（41.2%）
 - ④「多様な人が参加しやすい工夫をする」（30.9%）

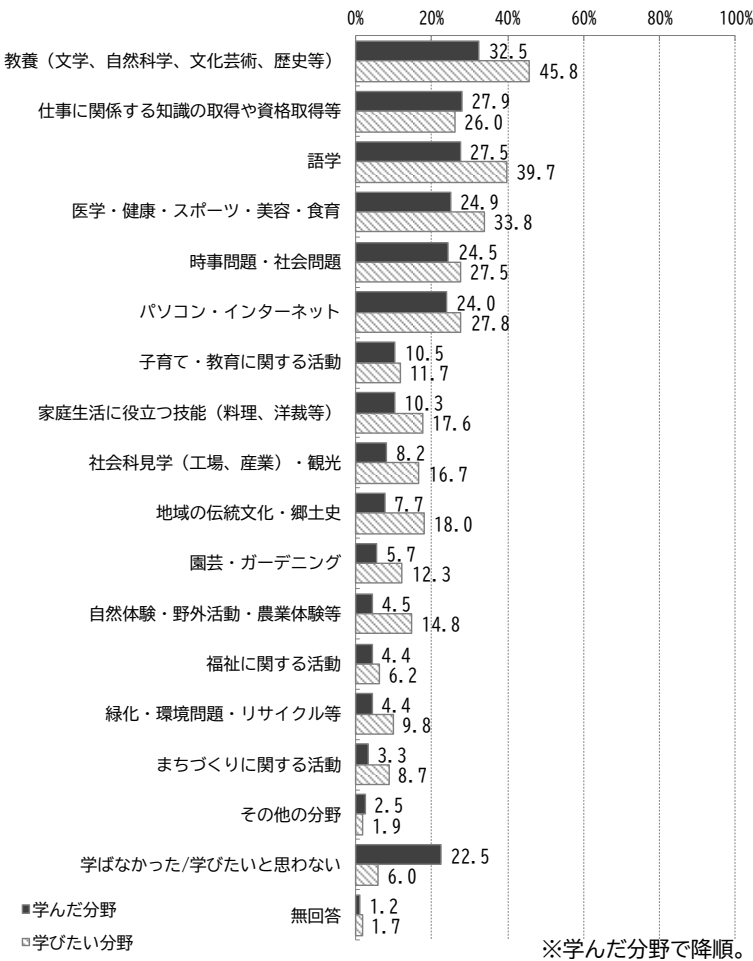


✓学んだ理由は、「仕事に活かすため」（60.8%）が最も高く、次いで「人生を豊かにするため」（51.2%）、「教養を深めるため」（46.9%）となっています。

学習活動に関わる行動

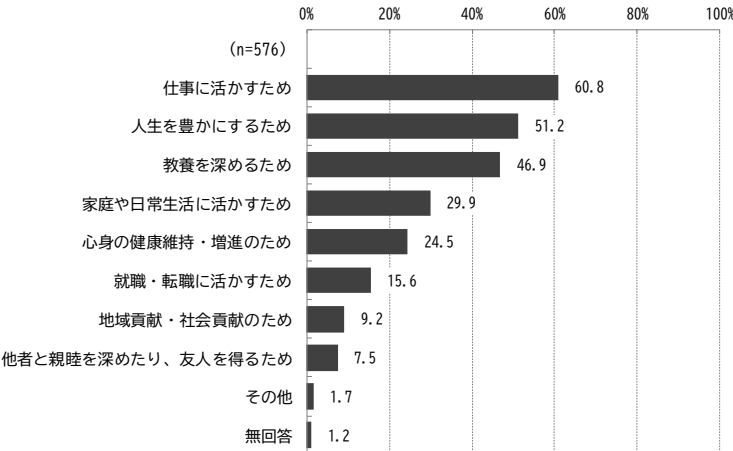
この1年間に学んだ分野、今後学びたい分野

- ✓この1年間に「学んだ」は76.3%、「学ばなかった」は22.5%。
✓学んだ分野は、「教養（文学、自然科学、文化芸術、歴史等）」
「仕事に関係する知識の取得や資格取得等」「語学」が上位3位。
✓今後「学びたい」は92.3%となっています。
✓学びたい分野は、「教養（文学、自然科学、文化芸術、歴史等）」
「語学」「医学・健康・スポーツ・美容・食育」が上位3位。



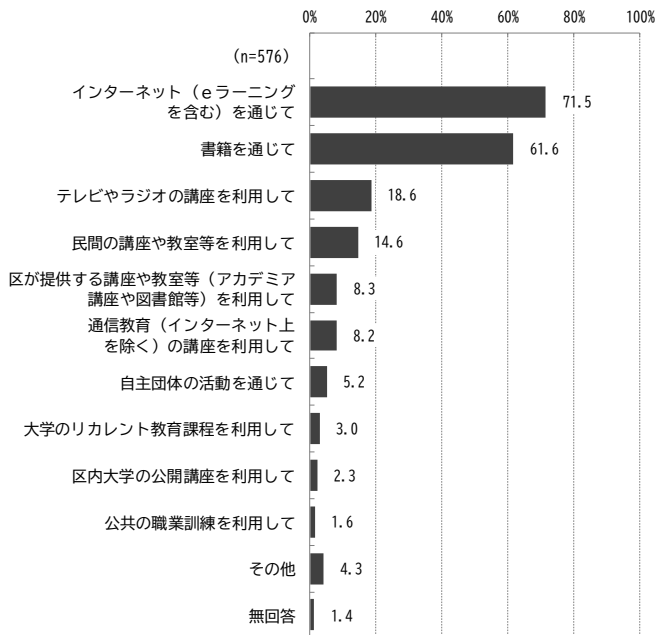
※学んだ分野で降順。

学んだ理由



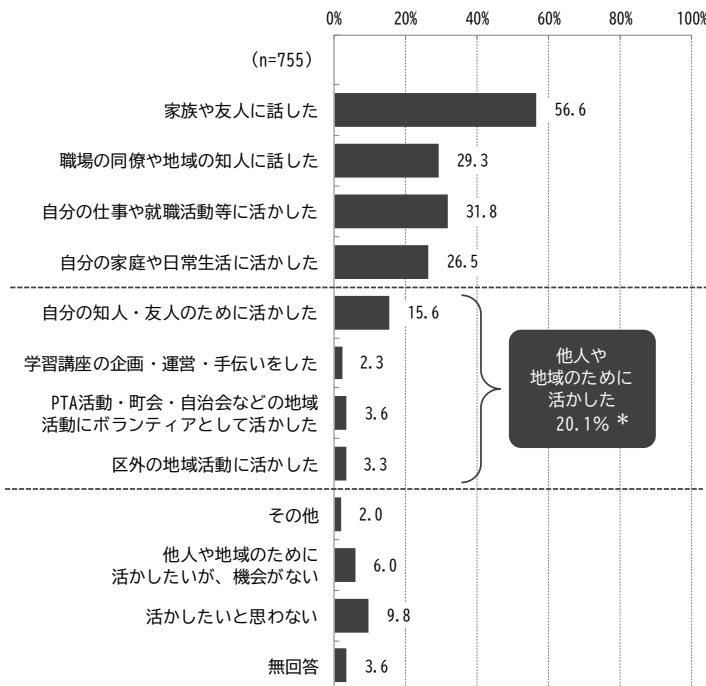
学んだ方法

✓学んだ方法は、「インターネット（eラーニングを含む）を通じて」（71.5%）が最も高く、次いで「書籍を通じて」（61.6%）。



学んだ内容をどのように活かしたか

- ✓学んだ内容をどのように活かしたかは、「家族や友人に話した」（56.6%）が最も高くなっています。
✓これまでに学んだ内容を他人や地域のために活かした人の割合をみると、20.1%となっています。



他人や
地域のために
活かした
20.1% *

*いずれかの選択肢を選んだ人の割合であり、4つ値の合計値ではありません。